

9. 中国（地域別調査機関：公益社団法人中国地方総合研究センター）

（-：回答が存在しない、\*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計動向 関連  (中国)		乗用車販売店（店長）	お客様の様子	・年明けから新車、サービス共に来客数が安定している。特に新車の客は購入の決断までが早い。
		一般小売店〔眼鏡〕（経営者）	単価の動き	・同業量販店が商品単価を上げている。
		一般小売店〔印章〕（経営者）	販売量の動き	・12月から中小企業の印鑑注文が増えている。
		百貨店（売場担当）	お客様の様子	・例年より降雪が多く気温も低めに推移しているにもかかわらず、百貨店の中で売上が大きい婦人服と食品などの部門が好調に推移し、全体を押し上げている。
		スーパー（店長）	単価の動き	・来客数は前年を割っているが、青果など商品の値上げで客単価が前年の104%である。
		スーパー（販売担当）	お客様の様子	・例年より雪が多いので、セール品でなくても客はコート類を購入する。
		スーパー（販売担当）	販売量の動き	・地域情報誌に掲載され、年明けから来客数が好調に推移している。また、低気温の影響により冬物衣料品の動きが好調で、30～40代の女性の客の動向が良い。
		スーパー（業務開発担当）	販売量の動き	・野菜価格が高騰しているが、販売点数に変化はない。
		家電量販店（店長）	単価の動き	・好調であった初売りの来客数が90%前半まで落ち込んでいるものの、客単価が高く売上は前年並みである。客の財布のひもが緩み始めている。
		乗用車販売店（営業担当）	販売量の動き	・来客数が増加し、成約件数も3か月前の1.5～2倍となり景気は良くなっている。
		その他専門店〔土産物〕（店長）	お客様の様子	・寒波で来客数の少ない日もあるが、気温が高くなると来客数は多い。地元産商品がよく売れ、高単価商品でも鮮度の良いものから売れていく。レジ付近の商品のついて買いも多く、景気が悪い感じはない。
		その他小売〔ショッピングセンター〕（管理担当）	お客様の様子	・景気が大きく改善しているとは言えないが、年末年始を含め客の購買意欲は少し上がった感がある。ただし、例年に比べて初詣客やウィンタースポーツ関係の客の増加はそれほどない。
		一般レストラン（外食事業担当）	来客数の動き	・1年半前から大手ナショナルチェーン店の出店が続く競争が激しくなっているが、エリア内に様々な業態が集約されることによって、他地域よりも店とメニューの種類が多く、来客数が増えている。ファミリー層とヤング層が増えており、休前日と休日の売上は前年の110%を超えている。特にランチタイムと早めのディナーの売上が伸びている。
		観光型ホテル（営業担当）	来客数の動き	・正月明けは来客数が落ち込むが、今年は先行予約の状況が良い。
		都市型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・飲食店の売上が伸びている。
		タクシー運転手	販売量の動き	・年末から人の動きが悪い。
		通信会社（工事担当）	お客様の様子	・客から景気が良いと聞く。
		競艇場（職員）	販売量の動き	・元旦に行った優勝戦と初旬の企画レースで売上が確保できている。
		住宅販売会社（従業員）	来客数の動き	・新春イベントの来客数が好調である。
		住宅販売会社（営業担当）	来客数の動き	・新年を迎えて徐々に増加している来客数は、気温の上昇とともに更に増える。
	商店街（理事）	来客数の動き	・季節の変わり目でセール時期でもあるので人の動きはある。	
	商店街（代表者）	競争相手の様子	・最近、閉店や廃業が続いており、店主の病気や跡継ぎ不在で事業継続ができない状況である。	
	商店街（代表者）	お客様の様子	・客は必要な商品以外は購入しない。	
	商店街（代表者）	お客様の様子	・一部高額品の販売は堅調であるが、バーゲンセール時期にもかかわらず若い女性をターゲットにした服飾店舗は売上の確保が難しい様子である。	
	一般小売店〔食品〕（経営者）	来客数の動き	・今年に入ってから売上、販売数量、来客数が前年を下回っている。	
	百貨店（経理担当）	販売量の動き	・営業日数が前年より1日多いが、前年並みの売上を維持できたのは化粧品と服飾雑貨くらいである。初売り、クリアランスセール、特別招待会などの不振が響いており、寒波の影響で来客数が減少している。	

百貨店（広報担当）	販売量の動き	・初売りと冬のセールの来客数は好調に推移しているが、販売量と売上が低調である。客のセールに対する購入意欲も第2週以降に低下し、定価商材の早期投入を余儀なくされるテナントが多数ある。
百貨店（営業担当）	来客数の動き	・気温低下で冬物商材は好調に推移しているが、予想以上の寒波と降雪で来客数が前年を割り込んでいる。
百貨店（営業担当）	販売量の動き	・クリアランスセールの動きが年々悪くなっている。定価品の売上ではセール品の減少分をカバーできず、セレモニー関係でもセット購入が減少して単品買いが増え、売上は前年を大きく割っている。
百貨店（販売促進担当）	お客様の様子	・初売り、福袋、冬セールと順調な立ち上がりみせた1月商戦であるが、月後半からの寒波で来客数と売上が一気に失速し、一転して前年実績確保も危ぶまれる推移となっている。天候は大きな要因であるが、セールの失速は商材不足も原因となっているとともに、その背景には値段が下がっても不必要な物は購入しない客の厳しめな購買姿勢もある。
百貨店（売場担当）	お客様の様子	・正月3日間は久々に高額福袋に人気が集まり好調であったが、婦人服のセール商材の減少でアパレルの売上は前年を割っている。セレモニースーツなど目的買の商品は比較的高額なものでも売れるが、前年のセールの数字をカバーするほどではない。
百貨店（購買担当）	お客様の様子	・衣料品関係はクリアランスセールがスタートして上旬は客が殺到したが、中旬以降は減少している。春物商材を投入しているが、天候の影響で購入には至っていない。物産展を開催しても野菜価格高騰の影響で食料品は厳しい状況にあり、ギフト解体セールでも客は必要なものしか購入しないので客単価はかなり低下している。
百貨店（売場担当）	販売量の動き	・100万円以上の時計や真珠のネックレスが売れている。
スーパー（店長）	お客様の様子	・寒波の影響による急激な気温の低下と降雪などで外出の機会が減少し、野菜価格の高騰もあって客が節約志向になっている。
スーパー（店長）	来客数の動き	・客単価に変化はない。
スーパー（店長）	来客数の動き	・来客数が横ばいの状況が続いており、売上も上向いていない。
スーパー（総務担当）	来客数の動き	・客単価にそれほど変化はないが、野菜などの値上がりで来客数が増加しない。
スーパー（財務担当）	来客数の動き	・生鮮品価格の影響で1品単価の上昇と買上点数の増加により売上は前年を上回っているが、来客数の前年割れが続いている。
スーパー（管理担当）	販売量の動き	・3か月前より利益部分で若干の上昇があるが大きな変化ではない。
コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・来客数の伸びが鈍化している。
コンビニ（副地域ブロック長）	来客数の動き	・朝夕の来客数が前年を割る店舗の割合が増加している。競合他社の影響が大きい。原油価格の高騰で食費にかかる割合が減少し、好調であったファーストフード部門も低迷している。
コンビニ（支店長）	来客数の動き	・直近数か月の来客数に変化はない。
衣料品専門店（経営者）	お客様の様子	・周辺から景気が良くなっている声は聞こえない。
衣料品専門店（店長）	単価の動き	・客は複数購入をしないので、スーツの販売量が前年より大きく低下している。
家電量販店（販売担当）	販売量の動き	・新生活需要が出てきている。
自動車備品販売店（経営者）	販売量の動き	・前年並みの売上で、景気に変化はない。
その他小売 [ショッピングセンター]（所長）	来客数の動き	・改装のため今月退店する約30テナントの閉店セールの影響で来客数は増えているが、中旬以降は下降気味である。
高級レストラン（宴会サービス担当）	来客数の動き	・前年並みの来客数である。
一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・年末年始を含めて消費の盛り上がりはない。各店舗とも人手不足で運営が大変である。

	一般レストラン (経営者)	単価の動き	・来客数が減少しており、客単価も低下している。
	一般レストラン (店長)	来客数の動き	・正月営業は前年同様の売上推移となっているが、正月明けから来客数が増えず、客単価は前年並みとなっている。郊外にできた大型ショッピングセンターの影響で週末でも人通りが少ない。
	都市型ホテル (企画担当)	来客数の動き	・宿泊客は増加しているが、レストラン部門と宴会部門は減少している。
	旅行代理店(経営者)	お客様の様子	・販売量が伸びず、同業他社も同様である。
	旅行代理店(営業担当)	販売量の動き	・前年と比較して取扱額は増加していないが、大きな減少もない。
	タクシー運転手 タクシー運転手	来客数の動き お客様の様子	・会社関係の利用客が減少している。 ・雪がかなり降っており、夜の客が少ない。地方都市は建設業の景気は良いが、他業種はそれほどでもない。
	通信会社(販売企画担当)	お客様の様子	・来客数はなかなか増えず、ダイレクトメールをしても来店誘因は大きくはない。
	通信会社(企画担当)	お客様の様子	・年が明け、前月の客の動きは前月より低調である。
	通信会社(総務担当)	販売量の動き	・放送サービスの新規契約件数は低調で、格安スマートフォンの加入件数は好調である。
	テーマパーク (管理担当)	来客数の動き	・入館者数や商品販売高は前年同月比で微減である。
	設計事務所(経営者)	来客数の動き	・事業物件で動きはあるものの、建築費の高騰で進められない案件が多い。また、その一方で住宅等個人からの引き合いは全くない。
	設計事務所(経営者)	お客様の様子	・例年この時期は動きが鈍い傾向にあるが、前向きの人が多い。来客数も増加しており、春に向かって期待が持てる。
	設計事務所(経営者)	競争相手の様子	・地方では全体的に建築物件数が減っており、工務店が設計事務所に営業に来るケースが増えている。
	商店街(代表者)	販売量の動き	・前年の夏から客単価が低下している。
	商店街(代表者)	単価の動き	・1月はバーゲン時期なので売上は伸びているものの、景気はまだ悪い。
	一般小売店 [茶](経営者)	来客数の動き	・人口減少と客の高齢化で購買量、客単価共に低下している。ネット販売に力を入れているが、まだ効果が出ていない。
	コンビニ(エリア担当)	お客様の様子	・野菜価格の高騰で客の衝動買いがない。
	衣料品専門店 (経営者)	競争相手の様子	・景気が悪いので閉店する店が増えている。
	家電量販店(店長)	来客数の動き	・寒い日が続き来客数が減少して売上も伸び悩んでいる。
	家電量販店(店長)	来客数の動き	・来客数が減少している。
	家電量販店(企画担当)	販売量の動き	・冷蔵庫の動きが悪い。
	乗用車販売店 (統括)	販売量の動き	・1月の販売量は前年の90%と厳しい状況が続いている。
	乗用車販売店 (総務担当)	販売量の動き	・販売実績の落ち込みが大きく、前年比80%程度で推移している。
	その他専門店 [布地](経営者)	お客様の様子	・寒さの影響でバーゲンセールで客足は鈍く、客は安さだけでは買わない傾向である。
	スナック(経営者)	来客数の動き	・例年新年会で良くなる1月の売上が今年は伸びず、景気が冷え込んできている。
	都市型ホテル (企画担当)	来客数の動き	・年末年始の繁忙期後の落ち込みは想定していたものの、インバウンド団体の受注が低迷しており、宿泊稼働は伸び悩み、異常な寒波の影響でレストランでは個人客の客足が鈍くなっている。ガソリン、灯油価格の高騰も家計に響いている。
	都市型ホテル (総支配人)	来客数の動き	・日並びで例年より仕事始めが早く、出雲大社参拝絡みの観光客層が減少している。また、下旬の寒波によるキャンセルも影響している。
	通信会社(広報担当)	お客様の様子	・常に客は価格の安いものを求めており、景気の良さは感じられない。
	テーマパーク (営業担当)	来客数の動き	・数年に一度の寒波で寒い日が続き客足が遠のいている。

	テーマパーク (業務担当)	来客数の動き	・閑散期と合わせて、低気温や降雪の影響で来客数が少なくなっている。
	美容室(経営者)	来客数の動き	・1月は客足が鈍くなるが、客の節約志向が高まって今年は特に顕著である。
x	コンビニ(エリア担当)	来客数の動き	・競合店の出店で2~3か月前から来客数が前年を下回っている。前年と比べて売上と来客数の開きが特に大きく、10年以上営業しているが、これまでにない状況である。
x	住関連専門店(営業担当)	来客数の動き	・初売りが終了した月半ば以降、来客数は減少している。
x	その他専門店[時計](経営者)	来客数の動き	・大雪で来客数が減少しており、需要も低下している。
x	その他飲食[サービスエリア内レストラン](店長)	来客数の動き	・悪天候で高速道路の交通量が減少している。
x	ゴルフ場(営業担当)	来客数の動き	・今年は例年に比べて寒く、直前にならないと予約が入らず、積雪が多くて営業日数も例年より少ないので来場者数が減少している。
x	美容室(経営者)	来客数の動き	・近隣の激安店に客が流れ、来客数が減少している。
企業 動向 関連  (中国)	輸送用機械器具製造業(経営者)	受注量や販売量の動き	・生産量は増産傾向である。
	不動産業(総務担当)	それ以外	・来客数、成約件数共に増加している。
	化学工業(経営者)	受注量や販売量の動き	・化学業界全体として好業績が継続しており受注量も引き続き増加基調にある。
	窯業・土石製品製造業(総務経理担当)	受注量や販売量の動き	・鉄鋼と硝子向け注文が大量に入り、現在の人員ではフル残業しても納期対応に追われ、人員を募集するが応募がない。
	鉄鋼業(総務担当)	受注価格や販売価格の動き	・客に製品価格の値上げを要請していても受注量は高位安定している。
	非鉄金属製造業(業務担当)	受注量や販売量の動き	・電子材料系を中心に受注が旺盛である。
	建設業(総務担当)	受注量や販売量の動き	・受注の引き合いが増加している。
	輸送業(支店長)	受注量や販売量の動き	・取引拡大と新規取引の引き合いがあり、企業の業績拡大と設備投資などにより取扱個数は増加している。
	食料品製造業(総務担当)	受注量や販売量の動き	・12月に消費者が買いだめをする影響で、1月は受注量が減少している。
	繊維工業(監査担当)	取引先の様子	・当業界では実需時期の直前に当たるが、ここ数月の実績はほぼ前年並みで推移しており、景気変動を実感する要素はない。
	化学工業(総務担当)	受注量や販売量の動き	・販売量、売上共に好調であるが、増加傾向にあるとは言えない。
	鉄鋼業(総務担当)	取引先の様子	・鋼材需給はひっ迫した状況が継続しており、市況も上伸している。各社とも財源確保を優先して値上げを受け入れている。
	金属製品製造業(総務担当)	取引先の様子	・得意先の受注は多いものの、当社が生産する製品の受注量は増えていない。得意先は大型品よりも小型品の受注が活況である。
	輸送用機械器具製造業(経営企画担当)	受注量や販売量の動き	・新製品の受注量は好調を維持し、全体の受注量を支えている。
	輸送業(総務担当)	取引先の様子	・取引先の生産数量、出荷数量共に変化がない。
	輸送業(経理担当)	受注量や販売量の動き	・海運貨物、倉庫貨物で引き合いはあるものの、受注量に対応するための戦力が不足しており、受注調整せざるを得ない状況が続いている。
	通信業(営業担当)	受注量や販売量の動き	・年度末に向けた通信設備更改の駆け込み需要喚起の折衝を行っているが、見込客が伸びてこない。
	通信業(営業企画担当)	取引先の様子	・通信利用料、保守料等の固定費見直しの際に大幅な値引き交渉が増えている。
	金融業(貸付担当)	受注量や販売量の動き	・アジア向け半導体や鉄鋼の輸出額が増加している。

	金融業（融資企画担当）	取引先の様子	・地元の自動車部品メーカーでは、系列完成車メーカーのスポーツ用多目的車が世界的に販売好調なことを背景に高水準の受注が続くとともに、当該車種には受注単価の高い部品が多いことから、増収増益傾向が続いている。
	会計事務所（職員）	取引先の様子	・天候不順で野菜の値段が高騰しているため、飲食店関係は材料費の上昇に悩まされている。特に、野菜を多く使う飲食店の利幅が低下している。
	食料品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・寒さが厳しく客足が鈍い。受注量が減少し、積雪の影響で運送遅延による返品も発生しており厳しい状況である。
	木材木製品製造業（経理担当）	受注量や販売量の動き	・新設住宅着工戸数が前期に比べ減少傾向で、景気が少し停滞してきている。
	輸送用機械器具製造業（財務担当）	受注量や販売量の動き	・今月は仕事量が少なく、景況感は一層悪化している。
	その他製造業 [スポーツ用品]（総務担当）	受注量や販売量の動き	・客の消費動向は回復しておらず、販売数が伸びず受注量も少ない。
	建設業（総務担当）	取引先の様子	・鋼材や外装材など資材の納期に時間を要するものが増加傾向にあり、資材価格も上昇傾向にある。
	広告代理店（営業担当）	受注量や販売量の動き	・年末年始は受注量が上向きであったが、現在は少し下降気味に推移している。
	x 一般機械器具製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・受注量や販売量の動きが悪い。
雇用 関連  (中国)	求人情報誌製作会社（営業担当）	求人数の動き	・求人社数、採用コスト共に増加している。
	人材派遣会社（支店長）	採用者数の動き	・1月初旬は求職者の動きが緩やかであるが、企業の採用意欲は高いままで、特に4月入社だけでなく3月からの入社希望の企業もある。
	人材派遣会社（支社長）	求職者数の動き	・求職者の動きが活発になっており、新規登録者が増加している。
	求人情報誌製作会社（経営者）	求人数の動き	・年明けから徐々に求人数が増えており、年間のうち最も求人数が増える2～4月に向けての動きが始まりつつある。
	新聞社 [求人広告]（担当者）	求人数の動き	・各企業の雇用確保に対する活動が以前とは比べものにならないほど広範囲で緻密な戦略となっている。
	職業安定所（所長）	求人数の動き	・新規求人は、受注増で工場を増設した自動車部品製造業と年度末に向けて公共事業が好調な建設業などで大口求人があり、求人全体では前年同月比1割増となっている。
	職業安定所（雇用開発担当）	雇用形態の様子	・新規求人数の増加数ほど増えなかった正社員新規求人数が4か月連続で増加し、正社員有効求人倍率は1.53倍と過去最高レベルに達していることから、景気はやや良くなっている。
	民間職業紹介機関（職員）	求職者数の動き	・同業他社でも同様に転職希望登録者の数が減少している。前月比、前年比でその数が減少しており、採用困難、人手不足感は否めない。
	学校 [大学]（就職支援担当）	周辺企業の様子	・企業の採用活動が活発である。
	人材派遣会社（経営企画担当）	求職者数の動き	・景気は堅調に推移し、企業の採用意欲は依然として高止まりしている。求職者確保の競争はますます激化しており、十分な母集団の確保に至っていない。
	求人情報誌製作会社（広告担当）	採用者数の動き	・前年同期に比べ、採用関連の制作物の受注がそれほど増えていない。採用人数もおおむね横ばいか、減らす企業もある。事務系、技術系両方の採用をしていた企業のうち技術系のみ採用に切り替える企業もある。
	民間職業紹介機関（人材紹介担当）	求職者数の動き	・人材不足の影響が大きく、求人を出すだけでは効果は期待できない。教育や研修などが必要であるが、そこまでの体力は大手企業にしかなく、とても景気が良いとは言えない。
	学校 [短期大学]（進路指導担当）	周辺企業の様子	・事業拡大に伴う新規雇用の話はなく、景気は現状維持である。

	職業安定所（産業雇用情報担当）	周辺企業の様子	・経営状況の悪化で店舗を閉鎖する事業所が数社出てきている。
	x	-	-